

各地の自然災害で被災された方々、新型コロナウイルスに感染された方々に、心からお見舞い申し上げます。  
神様の慰めと助けがありますよう、お祈りしております。

## 神にあって生きる

現在、教会に来られている方たちにも、神様との出会いがありました。  
第12回目は、ATさんにその経緯を語っていただきます。

気になりつつも、ずっと足が遠のいていた教会でしたが、急に予定がキャンセルになり、日曜の午前中、時間が出来たので、久しぶりに礼拝に出席したのが、昨年5月第3週でした。

この栄光教会は、いろいろなお縁もあり、もうずいぶん前から礼拝やチャペルコンサートに時々来ていましたが、最近はなかなか来られませんでした。今から思えば、その時はまだそんなに深刻に救いを求めていたわけでもなく、それからしばらくは普通に礼拝に来ては賛美をし、メッセージを聞き、そして帰るという日々でしたが、そのうちに、どうしても対人関係などで行き詰ることが起き、とても苦しい状態になりました。

そして、牧師先生に聖書の学びを進めていただくうちに、それは全て自分自身の罪のためであることが分かりました。私は、導かれるままに罪を悔い改め、その罪はキリストの十字架の血によって贖われ

たと信じました。そして、私は罪から救われたと確信しました。

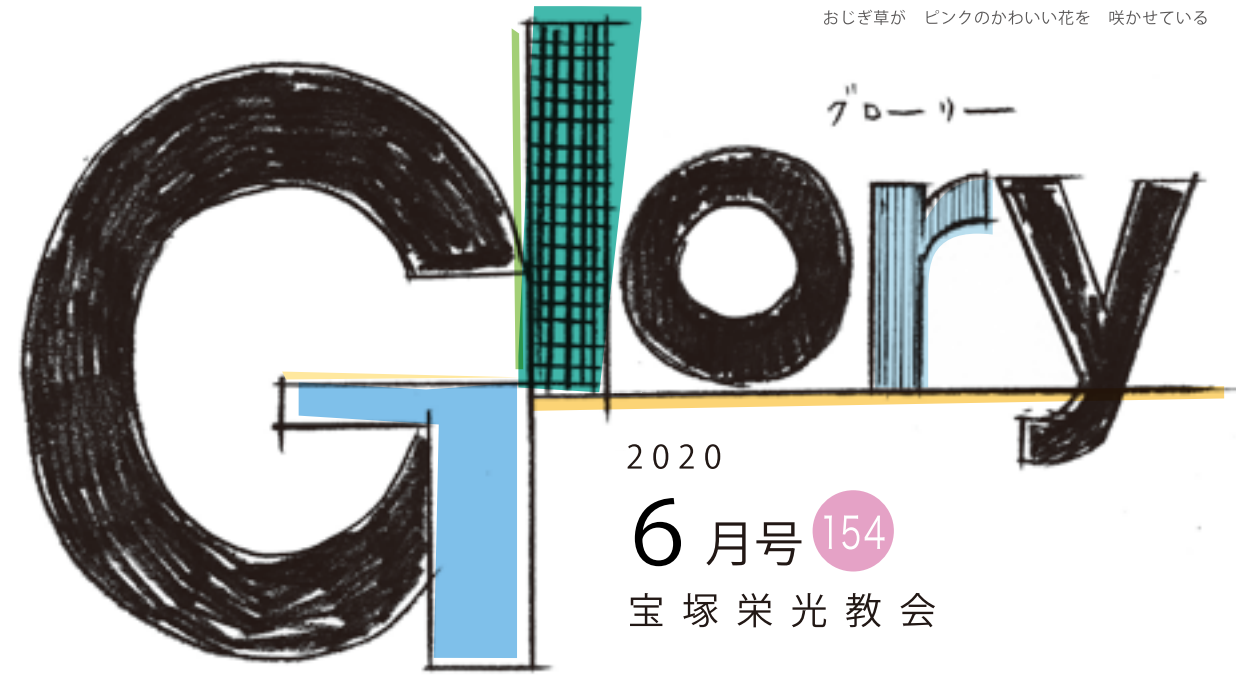
あの時、教会に行こうと思わなければ、み言葉との出会いもなく、罪にも気づかず、滅びのままの私であつたのでしょうか。偶然ではなく、神様が私を探し出し、見つけて、背中を押してくださったのだと、感謝でいっぱいです。

「恐れるな、わたしはあなたを贖ったからだ。わたしはあなたの名を呼んだ。あなたはわたしのもの。」心がくじけそうになる時、いつもこの聖句を思い出し、神様がそばにいてくださることを感じます。

教会との出会いから約40年。本当に長い道のりでしたが、やっとやっと時が来て、これからは神様の御手に委ね、十字架を仰いでいきます。



おじぎ草が ピンクのかわいい花を 咲かせている



### 教会のひとこま①

#### 母の日フラワーバスケット

5月10日は母の日でした。婦人会お手製の母の日プレゼント用のフラワーバスケットが、今年は規模を縮小して用意されました。季節の花で鮮やかに彩られたバスケットが見る人の心を和ませてくれました。

命の尊さと生きていることの素晴らしさを、普段以上に考えさせられる昨今だからこそ、お母さんへの感謝の気持ちも、ひと際大きく感じるのかもしれない。

そして、今の大変な状況が少しでも早く落ち着いて、平和な日常が戻ってほしいという願いも、フラワーバスケットにはしっかりと込められているような気がしました。



### 教会のひとこま② 教会のバラ

5月は教会のバラが満開を迎える時期です。今年も、玄関前のモッコウバラや、花壇に植えられた種々のバラが見事に咲きました。今年は何の花も、例年に増して大きく、きれいに咲いています。中でもちょっと珍しいアンネのバラは花瓶に刺し、デイサービスの利用者さんにも楽しんでいただきました。

気がかりなことが多く、慌ただしく過ぎていく日々の中で、心が息切れするように感じることはありませんか。そんなときは、ちょっと足を止めて、一途に咲いて風にそよぐ花たちに目を向けるなら、心の呼吸も整って、元気をもらえるかもしれませんね。

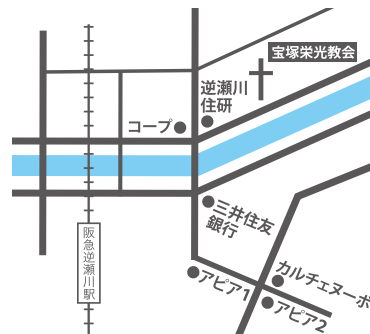


## 宝塚栄光教会

牧師：岩間 洋

〒665-0021 宝塚市中州1-15-9 TEL:0797-73-6076

E-mail : info@takara-eikou.com http://www.takara-eikou.com



教会HP



礼拝動画

希望のダイヤル (聖書のお話)

0797-77-3746

毎週更新、24時間つながります。ホームページからも利用できます。

礼拝 毎週日曜日

10:30~11:40

わたしたちは統一教会、ものみの塔(エホバの証人)、モルモン教ではなく、正統的なプロテスタントのキリスト教会です。お困りの方はご相談ください。

## 天に宝を

イエス・キリストの言葉には、含蓄があります。ある時キリストは、このように言われました。「自分のために、天に宝を蓄えなさい。そこでは虫やさびで傷物になることはなく、盗人が壁に穴を開けて盗むこともありません。」(マタイの福音書6章20節)

私たちは、一生懸命働いて収入を得、少しでも貯金をして、生活を安定させようと努力をします。しかし、営々として蓄えた富を、火事や盗難に遭って一瞬にして失うということもあり得ますし、そのような災難に遭わなくても、やがて訪れる死の向こうには、私たちは、一円のお金も持っていくことはできません。地上の富とは、はかないものです。

キリストは「天に宝を蓄えなさい」と言われました。朽ち果てる地上の宝は、天国では通用しません。地位や富を築いた人は、それがいつ壊されるか気が気ではない、ということを知ったことがあります。地位や富は、私たちに本当の安心、平安を与えてはくれないのです。

しかし、キリストを信じて救われたら、魂に

本当の平安を持つことができます。

キリストは、罪のない神の子でしたが、むごい十字架にかかって死なれました。当時のユダヤの指導者たちのねたみを買って、処刑されたのですが、実は私たちの罪のための身代わりの死だったのです。

罪とは、何か悪い事をしたというよりも、まことの神様から心が離れているという状態のことです。罪を持ったままでは、私たちは確実に滅んでしまいます。

愛なる神様は、そのような私たちを憐れんでくださり、ひとり子キリストを私たちの代わりに十字架におかけになったのです。

この十字架を信じる人は誰でも罪が赦され、永遠のいのちをいただくことができます。永遠のいのちこそ、私たちが天国に持つていくことのできる宝なのです。そして、この宝を持っていれば、私たちは心に平安を持つことができるのです。

あなたはどんな宝を持っておられるでしょうか。天に本当の宝を蓄える者になりませんか。



## 「ヤグルマギク」

今年も 陽の当たる場所ならどこでも  
伸びやかな姿で 空に向かって咲いている ヤグルマギク  
その真っ青なブルーは 印象深く 見過ごすことができない  
ほっそり見えるが 茎は強く 簡単には折れない

ヤグルマソウとも呼ばれていたが  
山間部で自生する ユキノシタ科のヤグルマソウと混同しないようにと  
現在は ヤグルマギクの名前で 統一されている

日本には 明治の中ごろに入ってきた  
原産は ヨーロッパ バルカン半島あたりと言われている  
もともと 小麦やライ麦・とうもろこしの畑に生えていた 雑草だった  
今 品種改良されて 美しい 色とりどりの花を咲かせるが  
原種の花色は 青色である  
その青色の美しさは 最高級のサファイアの色として  
コーンフラワーブルー (矢車菊の青) と表現されている

また ドイツの国花でもある  
ナポレオンがプロイセン (現在のドイツ) に攻め入った時  
母ルイーゼ妃は 子ども達と麦畑に隠れた  
そして この花で花冠を作り 子ども達を慰めた  
後にドイツの皇帝となった 息子の一人ヴィルヘルム1世は  
ヤグルマギクを皇帝の紋章にした  
ヤグルマギクは “カイゼル (皇帝) の花”とも呼ばれているのである  
宮廷の庭にも この花が植えられていたという

素朴な花の姿であるが また 麦畑の雑草であるにも関わらず  
人々に親しまれ 愛された花である  
花は 何を伝え 何を語り続けていたのだろうか

何を見張るよりも あなたの心を見守れ  
いのちの泉は これから湧く

箴言4章 (聖書)